

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史 科目: 地理総合 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第1学年 1組~ 9組
 教科担当者:
 使用教科書: (高等学校 新地理総合(帝国書院))

教科 地理歴史 の目標: 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標: 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
地図と地理情報システム 【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	緯度・経度・時差の違いが生活に与える影響 様々な図法と地理情報システムと生活の関わり	【知識・技能】 日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
結び付きを深める現代世界 【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	国家の領域と国境・日本の位置と領域 グローバル化と貿易・交通・通信・観光の変化	【知識・技能】 現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 【思考・判断・表現】 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
生活文化の多様性と国際理解 【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、	大地形・変動帯・安定地域・河川がつくる地形・海岸の地形・氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活 大気大循環・世界の植生と気候区分 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯と人々の生活	【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性				

	<p>自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>								16
	定期考査								1
	<p>生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>大気循環・世界の植生と気候区分 熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯と人々の生活</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>						13
	定期考査								1
2 学 期	<p>生活文化の多様性と国際理解</p> <p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活</p>	<p>【知識・技能】 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。</p> <p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>						13
	定期考査								1
	<p>地球的課題と国際協力</p> <p>【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び都市問題などについて理解している。</p>	<p>地球環境問題・エネルギー・資源問題・人口問題・食料問題・都市・居住問題</p>	<p>【知識・技能】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する課題について理解している。</p>						

<p>ひ居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>		<p>する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>3 学 期</p> <p>自然環境と防災 【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>日本の自然環境・地震・津波と防災・火山災害と防災・気象災害と防災・自然災害への備え</p>	<p>【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <p>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>生活圏の調査と地域の展望 【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>日本の自然環境・地震・津波と防災・火山災害と防災・気象災害と防災・自然災害への備え</p>	<p>【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1

合計
70

高等学校 令和8年度(1学年用) 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科: 地理歴史 科目: 歴史総合 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第1学年 1組~ 9組
 教科担当者:

使用教科書: (実教出版 詳述歴史総合)

教科 地理歴史 の目標: 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

- 【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識: 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。 技能: 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
【知識及び技能】東アジア、南アジア・東南アジア、西アジア、ヨーロッパのそれぞれが独自の文化圏を形成していたことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】各地域どうし及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に、また協力して、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする。	・評価方法説明等オリエンテーションを行う。 ・諸地域世界の形成に関する14世紀までの歴史等基本的事項について理解させる。教員作成プリント、板書、振り返りシート等で、理解を深めさせる。また、クイズ作成、ペアで出題し合う学習等により知識の定着を図る。	【知識及び技能】東アジア、南アジア・東南アジア、西アジア、ヨーロッパのそれぞれが独自の文化圏を形成していたことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】各地域どうし及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に、また協力して、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりしている。	○	○	○	5
【知識及び技能】16~17世紀にヨーロッパ諸国が進めていった世界の一体化について、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】16~17世紀にヨーロッパ諸国が進めていった世界の一体化について、その背景とアジア諸国等の対応について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に、また協力して、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする。	16~17世紀にヨーロッパ諸国が進めていった世界の一体化について、ICT、ワークシート、プリント、板書、振り返りシート等で、理解を深めさせる。また、クイズ作成、ペアで出題し合う学習等により知識の定着を図る。	【知識及び技能】16~17世紀にヨーロッパ諸国が進めていった世界の一体化について、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】16~17世紀にヨーロッパ諸国が進めていった世界の一体化について、その背景とアジア諸国等の対応について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に、また協力して、諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりしている。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
【知識及び技能】近代欧米世界・	近代欧米世界・日本の開国に関する歴史について、ICT、ワーク	【知識及び技能】近代欧米世界・日本の開国について、産業革命、市民革命の意義と日本				

1
学期

日本の開国について、産業革命、市民革命の意義と日本の動きを中心に、理解する。
【 思考力、判断力、表現力等 】

シート、プリント、板書、振り返りシート等により、理解を深めさせる。また、クイズ作成、ペアで出題し合う学習等により知識の定

の動きを中心に理解している。

【 思考力、判断力、表現力等 】 近代欧米世界・日本の開国について、産業革命、市民革命の意義と日本の動きを中心に、考察し、表

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 世界史探究

教科: 地理歴史 科目: 世界史探究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 7組

教科担当者:

使用教科書: (山川出版社『詳説世界史』)

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数	
			知	思	態		
1 学 期	第1章 文明の成立と古代文明の特質 【A】資料から情報を読み取ったりまとめた技能を身に付ける。 【B】文明の形成に関わる諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】人類の進化と文明の成立 【教 材】「地球カレダ」 【端末活用】端末、資料	【A】資料から情報を読み取ったりまとめた技能を身に付けている。 【B】文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問を表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.16-36	36, 21	5	
	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 【A】東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。 【B】東アジアと中央ユーラシア諸地域相互の関わりなどに関連して主題を設定し考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】中国後漢までの東アジア 【教 材】「塩鉄論」など 【端末活用】端末、資料	【A】秦・漢と遊牧民族の動向をもとに、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。 【B】東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.37-53	53, 17	4	
	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【A】南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 【B】南アジアにおける宗教や文化の特色などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】仏教及びヒンズー教の成立 【教 材】「インドのIT急成長とカースト制度」 【端末活用】端末、資料	【A】仏教の成立とヒンズー教、南アジアと東南アジアの諸国家などをもとに、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。 【B】南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、当該地域における宗教や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.54-62	62, 9	4	
	定期考査			○	○	○	1
	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成 【A】西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史的特質を理解する。 【B】西アジアと地中海周辺の特色などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】ギリシアとローマ、地中海世界の形成 【教 材】ペルシア戦争動画 キケロ著作 【端末活用】端末、資料	【A】西アジアと地中海周辺の諸国家の歴史的特質を理解している。 【B】西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、当該地域の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.63-84	84, 22	3	
	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 【A】中央ユーラシア世界の形成と中国における分裂と融合、それによる遊牧民とオアシス民の関係性について理解する。 【B】ソグド人の東西交渉において果たした役割を考察する。 【C】多様な人々によって構成されていた唐代の社会を基に現代での多様性を主体的に追求する。	【指導事項】ユーラシア世界の東西交流と中華文明の融合・発展 【教 材】旧唐書、古代書簡 【端末活用】端末、資料	【A】中華世界が遊牧民などの侵入によって分裂し、新たな胡漢融合世界ができたことを理解している。 【B】ソグド人がユーラシア世界において果たした役割について多面的・多角的に考察している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.37-53	53, 17	4	
	第5章 イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【A】キリスト教とイスラームの歴史的特質を理解する。 【B】キリスト教徒イスラームの形成する文化の特色などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】キリスト教とイスラームの成立 【教 材】「旧約聖書」など 【端末活用】端末、資料	【A】キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、両宗教の歴史的特質を理解している。 【B】両宗教の歴史に関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、両宗教の形成する文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.102-116	116, 15	4	
	定期考査			○	○	○	1
	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 【A】ヨーロッパの封建社会とその展開をとおり、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを理解する。 【B】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、当該地域が歴史	【指導事項】封建制とカトリック 【教 材】「フランドル時講書」中国封建制度資料	【A】ヨーロッパの封建社会とその展開をとおり、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【B】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、当該地域が歴史	教科書 pp.117-136	136, 20	4	

<p>の背景やその原因、結果や影響などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。</p>	<p>【端末活用】 端末、資料</p>	<p>上果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】 諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。</p>				
<p>第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 【A】ヨーロッパの封建社会とその展開をと</p>	<p>【指導事項】 封建制とカトリック 【教材】 「フランドル時禱</p>	<p>【A】 ヨーロッパの封建社会とその展開をとおして、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりや構造的に理解している。 【B】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景やその</p>	<p>教科書 pp.137-149, 13 頁</p>			

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 1組~ 7組

教科担当者:

使用教科書: (山川出版社「詳説 日本史 日本史探究」)

教科 地理歴史 の目標: 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民とし主な自覚と資質を養う。

【知識及び技能】社会的現象等に関する理解などを図るための知識と社会的現象等について調べまとめる技能を養う。

【思考力、判断力、表現力等】社会的現象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する力や、考察したことや構想したことを説明する力、それらを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に学習に取り組む態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚を養う。

科目 日本史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	<p>日本文化のあけぼの</p> <p>【知識及び技能】 旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめ、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、先史社会の特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然環境と人間の生活との関わり、中国大陸・朝鮮半島などアジア及び太平洋地域との関係、狩猟採集社会から農耕社会への変化などに着目して、環境への適応と文化の形成について、多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 先史・古代の日本と東アジアに関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究できる。</p>	<p>人類文化の発生を考文、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通して、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>古墳とヤマト政権</p> <p>【知識及び技能】 国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 中国大陸や朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 律令国家の形成と古代文化の展開の内容に対して、見通しをもって学習に取り組むことができる。</p>	<p>地域的首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえさせる。</p>	<p>【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>律令国家の形成</p> <p>【知識及び技能】 「律令国家とはどのような国家だったのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「日本が中国にならった律令にもとづく国づくりを、急いで進めたのはなぜだろうか」などの課題について、中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して考察し、その結果を表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 律令国家の形成と古代文化の展開の内容に対して、見通しをもって学習に取り組むことができる。</p>	<p>律令国家が成立するまでの政治過程について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>貴族政治の展開</p> <p>【知識及び技能】 貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、古代の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 摂関政治と貴族文化の内容に対して、見通しをもって学習に取り組むことができる。</p>	<p>藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。</p>	<p>【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通して、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>院政と武士の躍進</p> <p>【知識及び技能】 院政の特色や荘園公領制の成立について、諸資料から適切かつ効果的に読み取ることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 権力の主体の変化などに着目して、朝廷政治</p>	<p>院政前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解させる。</p>	<p>【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示し、</p>				

2 学 期	<p>や土地支配のしくみがどのように変容していったのかについて、多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究することができる。</p>		<p>て表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとしている。</p>	○	○	○	14
	<p>武家政権の成立</p> <p>【知識及び技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出すことができる。</p>	<p>鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。</p>	<p>【知識・技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>武家社会の成長</p> <p>【知識及び技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出すことができる。</p>	<p>南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。</p>	<p>【知識・技能】 鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易の展開と琉球王国の成立などについて、諸資料から情報を収集して理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 南北朝の動乱などにみられる地域の政治・経済の基盤をめぐる対立や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代とのつながりを見出そうとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

高等学校 令和8年度(第3学年用) 教科 「地理歴史」 科目 「世界史探究」

教科: 「地理歴史」 科目: 「世界史探究」 単位数: 4 単位

対象学年組: 第3学年 2・3・5・8・9組

教科担当者:

使用教科書: (山川出版社『詳説世界史』)

教科 「地理歴史」 の目標:

- 【知識及び技能】** 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】** 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】** 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 「世界史探究」 の目標:

【A】 知識及び技能	【B】 思考力、判断力、表現力等	【C】 学びに向かう力、人間性等
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推察、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第5章 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【A】キリスト教とイスラム教の歴史的特質を理解する。 【B】キリスト教とイスラム教の形成する文化の特色などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】イスラム教の成立とその特徴 【教材】「コーラン」など 【端末活用】端末、資料	【A】キリスト教とイスラム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、両宗教の歴史的特質を理解している。 【B】両宗教の歴史に関わる諸事象の背景やその原因などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、両宗教の形成する文化の特色等を多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.85-101	○	○	17頁
第6章 イスラム教の伝播と西アジアの動向 【A】イスラム教の伝播をとおして、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを理解する。 【B】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】イスラム教のアジアやアフリカへの伝播 【教材】ジャンク船・ダウ船画像、「三大陸周遊記」など 【端末活用】端末、資料	【A】西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラム教の伝播をとおして、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【B】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景やその原因、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、当該地域が歴史の上果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.102-116	○	○	15頁
定期考査			○	○		2
第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 【A】ヨーロッパの封建社会とその展開をとおして、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを理解する。 【B】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】封建制とカトリック 【教材】「フランドル時禱書」 中国封建制度資料 【端末活用】端末、資料	【A】ヨーロッパの封建社会とその展開をとおして、海城と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解している。 【B】諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景やその原因、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、当該地域が歴史の上果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.107-136	○	○	28頁
第2章 中央ユーラシアと東アジア世界 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【A】東アジア世界の展開について、中国を軸として周辺民族との関係性に注目して理解する。 【B】東アジア文化圏の形成について、視覚的な資料を鑑賞し、その性格について考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】魏晉南北朝、隋唐帝国、五代十国、モンゴル帝国 【教材】白居易『長恨歌』 唐三彩 紅樓夢等元代の著作 【端末活用】端末、資料	【A】隋・唐の社会や制度、支配体制について、それまでの時代や他の地域との違いや、時期ごとの変化をふまえて理解している。 【B】壁画などの図像資料や『旧唐書』奥唐志などの資料をもとに、隋・唐の社会の特徴や近隣諸国への影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【C】東アジア文化圏の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。	教科書 pp.44-53 教科書 pp.137-149	○	○	10頁 13頁
定期考査			○	○		2
第9章 大交易・大交流の時代 【A】諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 【B】諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響などについて考察する。 【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求する。	【指導事項】大航海時代、欧州諸国の世界進出 【教材】鄭暁「今言」 ラス・カサス著作 モンテーニュ著作 【端末活用】端末、資料	【A】アジア海城での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。 【B】諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景やその原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、当該地域が歴史の上果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求しようとする。	教科書 pp.150-161	○	○	12頁
第10章 アジアの諸帝国の繁栄 【A】オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国や明・葉帝の動向について、交易の発展の経路を考察する。	【指導事項】オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国 【教材】 【端末活用】端末、資料	【A】ムガル帝国において非イスラム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。 【B】皇帝を描いた図像資料や『康熙帝伝』などの資料をもとに、清の皇帝と従来の中国王朝の皇帝との違	教科書 pp.162-175	○	○	14頁

	<p>【B】民族の特徴を文化的作品を探究することを通じて理解する。</p> <p>【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。</p>	<p>国、</p> <p>【教 材】明・清帝国 各帝国の文化作品、 各国の工芸品</p> <p>【端末活用】端末、資料</p>	<p>【C】いを多面的・多角的に考察し表現している。オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見だして、見通しを持って学習に取り組みようとしている。</p>	○	○	○	11			
	定期考査			○	○		2			
第二学期	<p>第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <p>【A】宗教改革、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想、主権国家体制の形成などについて理解する。</p> <p>【B】宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連について考察する。</p> <p>【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。</p>	<p>【指導事項】宗教改革、大西洋三角貿易、科学革命等</p> <p>【教 材】マックス＝ウェーバー 著作、「九十五カ条の論題」など</p> <p>【端末活用】端末、資料</p>	<p>【A】宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。</p> <p>【B】宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連などを、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。</p>	教科書 pp.175-201,	26	頁	○	○	○	11
	<p>第12章 産業革命と環大西洋革命</p> <p>【A】国民国家と近代民主主義社会の形成について理解する。</p> <p>【B】産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などについて考察する。</p> <p>【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。</p>	<p>【指導事項】産業革命、環大西洋革命</p> <p>【教 材】産業革命に関する動 画 エンゲルス著作 ガイド作品</p> <p>【端末活用】端末、資料</p>	<p>【A】産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。</p> <p>【B】産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、理解している。</p> <p>【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。</p>	教科書 pp.202-219,	18	頁	○	○	○	11
	<p>第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <p>【A】世界市場の形成とアジア諸国の変容について理解する。</p> <p>【B】労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などについて考察する。</p> <p>【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。</p>	<p>【指導事項】自由貿易体制、世界市場の形成</p> <p>【教 材】チャーティスト請願、 アイルランド人口資料</p>	<p>【A】国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。</p> <p>【B】諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、イギリスの覇権、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。</p>	教科書 pp.220-241,	22	頁	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2			
第三学期	<p>第14章 アジア諸地域の動揺</p> <p>【A】世界分割の進展とナショナリズムの高まりを理解する。</p> <p>【B】世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などについて考察する。</p> <p>【C】よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。</p>	<p>【指導事項】世界分割の進展、ナショナリズムの高揚</p> <p>【教 材】東京日日新聞、 ネルー著作</p> <p>【端末活用】端末、資料</p>	<p>【A】第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変容などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。</p> <p>【B】諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【C】諸地域の歴史的特質の形成について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする。</p>	教科書 pp.242-257,	16	頁	○	○	○	32
							合計 140			

科目 「世界史探究」 の評価：

【A】 知識及び技能	【B】 思考力、判断力、表現力等	【C】 学びに向かう力、人間性等
定期考査及び単元ごとの小テスト、探究活動における史料及び資料の活用や読み解きの状況について、「極めて高い段階にある」「高い段階にある」「もう一歩努力を要する」の3段階で評価する。	定期考査における思考力を問う問題や初見問題の解法及び協働活動における発想力や発表活動における表現力等を総合し、「極めて高い段階にある」「高い段階にある」「もう一歩努力を要する」の3段階で評価する。	単元前の予習を必須とし、探究活動開始前に実施する単元小テストや探究活動における協働での積極性や関与の深さ等を評価し、「極めて高い段階にある」「高い段階にある」「もう一歩努力を要する」の3段階で評価する。

科目 「世界史探究」 の補足事項：

17世紀までの中国史及びアジア史探究については、夏季に講習を実施する。

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教科: 地理歴史 科目: 日本史探究 単位数: 4 単位

対象学年組: 第3学年 1.2.6.7.8.9組

教科担当者:

使用教科書: (山川出版社『日本史探究 詳説 日本史』)

教科 地理歴史

の目標: 我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民とし主な自覚と資質を養う。

【知識及び技能】社会的事象等に関する理解などを図るための知識と社会的事象等について調べまとめる技能を養う。

【思考力、判断力、表現力等】社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察する力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する力や、考察したことや構想したことを説明する力、それらを基に議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に学習に取り組む態度と、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚を養う。

科目 日本史探究

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
近世から近代へ 【知識及び技能】 対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政府の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。	①国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。 ②江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。 ③幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の一端に至るまでの経過を理解する。	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。 【思考・判断・表現】 日本が直面していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらす政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
近代国家の成立 【知識及び技能】 明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	①東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。 ②開戦に至る国際関係や、日露戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。 ③第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。	【知識・技能】 日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。 【思考・判断・表現】 議会が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や意識の高まりをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもった意味を考察し、主体的に追究しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
近代の産業と生活 【知識及び技能】 文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 欧米の思想・文化の影響、産業の発展の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。 【学びに向かう力、人間性等】 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ②伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。 ③労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基礎の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。	【知識・技能】 産業の発展の背景と影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。 【思考・判断・表現】 地域社会の変化などを踏まえて産業全般の変化がもたらされたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業の発展とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1

<p>恐慌と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>①戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動向について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。</p> <p>②日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。</p> <p>③恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。</p>	<p>【知識・技能】 国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連綿した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ウィンストン体制下の協約外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済の動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に追究しようとしている。</p>			22
<p>定期考査</p>			○	○	1
<p>2 学期</p> <p>占領下の日本</p> <p>【知識及び技能】 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしていること。</p>	<p>①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれにもなう諸改革について、その経過と内容を理解する。</p> <p>②戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。</p> <p>③東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考察する。</p>	<p>【知識・技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。</p>			32
<p>定期考査</p>			○	○	1
<p>3 学期</p> <p>占領下の日本</p> <p>【知識及び技能】 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現すること。</p>	<p>①独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。</p>	<p>【知識・技能】 第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と諸改革について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における諸改革が生み出した成果と課題について、主体的に追究しようとしている。</p>			32
					合計
					140

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 公民 科目 公共

教科: 公民 科目: 公共 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第2学年 1組~ 9組
 教科担当者:

使用教科書: (帝国書院 高校生の公共)

教科 公民 の目標:

- ・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。
 - ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。
- 主として法に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決【思考力、判断力、表現力等】が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する。
- 【学びに向かう力、人間性等】現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。

科目 公共 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・法や規範の意義及び役割、多様な契約及び消費者の権利と責任、司法参加の意義に関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・幸福、正義、公正などに着目して、主として法に関わる事項について、法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。	・現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に考え、解決しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
「青年期と社会参画」「宗教・思想・伝統文化と社会」 【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	1 「大人」へ向かう私たち 2 悩みと向き合うためのヒント 3 多様な個性が存在する社会 4 私たちの社会に息づく宗教 5 私たちの生活と日本の伝統・文化 6 社会をつくる私たち	【知識及び技能】 ・自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6
「倫理的な見方・考え方」 【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	1 よりよく生きるためのヒント 2 幸福と正義の考え方 3 動機と結果の考え方 4 他者と共に生きる倫理	【知識及び技能】 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における人間としての在り方生き方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	○	○	○	6

	に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。								
1 学 期	1学期中間考査					○	○		1
	「社会の基本原則と憲法の考え方」 【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	1 近代憲法に流れる考え方 2 日本国憲法に生きる基本的原理 3 平等に生きる権利 4 精神活動の自由に関する権利 5 身体や経済活動の自由に関する権利 6 より人間らしく生きる権利 7 幸福を求める権利と広がる人権	【知識及び技能】 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作るうえで必要であることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・公共的な空間における基本的原理について、日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。			○	○	○	6
	「法の意義と司法参加」「民主社会と政治参加」 【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。	1 社会規範と法 2 私たちの生活と法 3 契約の考え方 4 消費者の権利と責任 5 司法の役割 6 刑事裁判とその課題 1 政治と権力 2 議院内閣制と国会 3 権力分立と行政の役割 4 地方自治の役割 5 政党政治とメディア 6 国民の政治参加と選挙	【知識及び技能】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。			○	○	○	6
1学期期末考査					○	○		1	
	「国際政治の動向と平和の追求」 【知識及び技能】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む）、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】	1 国家と国際法 2 日本の主権と領土 3 国際連合の役割と活動 4 人権保障の国際的な広がり 5 平和主義と日本の防衛政策 6 これからの日本の安全保障 7 紛争とテロリズム 8 核兵器と軍縮の課題 9 国際協力と日本の役割	【知識及び技能】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む）、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・国家主権、領土（領海、領空を含む）、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。			○	○	○	8

	<p>・国家主権、領土（領海、領空を含む）、日本の安全保障と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>						
2学期	<p>「市場経済のしくみ」 【知識及び技能】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることおよびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>1 私たちの生活と経済のしくみ 2 市場経済のしくみ 3 企業の目的と役割 4 経済の変動 5 金融の役割 6 中央銀行の役割と金融政策 7 政府の役割と財政の機能 8 日本の財政の課題 9 社会保障の役割と意義 10 社会保障制度の課題</p>	<p>【知識及び技能】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることおよびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 市場経済の機能と限界、金融の働き、財政および租税の役割などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	8
	2学期中間考査			○	○		1
	<p>「豊かな社会の実現」 【知識及び技能】 ・職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること、およびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>1 労働者の権利 2 雇用と労働に関する課題 3 産業構造の変化と職業選択 4 社会を支える産業とその変革</p>	<p>【知識及び技能】 ・職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること、およびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	10
	2学期期末考査			○	○		1

3 学 期	<p>「国際経済の動向と格差の是正」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること、およびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>1 国際経済のしくみ</p> <p>2 国際経済制度の歩み</p> <p>3 地域経済統合</p> <p>4 グローバル化と自由貿易協定</p> <p>5 国際経済の変化と課題</p> <p>6 経済格差の是正</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること、およびより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとしている。</p>	○	○	○	15	
	<p>学年末考査</p>				○	○		1
							合計	70